

# 目指す未来に向けた社会課題の解決への貢献

ESG課題	マテリアリティ	目標年度	目標	2023年3月期実績	
環境	カーボンニュートラルの実現 気候変動への対応	2030年度	●事業活動におけるCO <sub>2</sub> 排出量の削減（スコープ1,2） →50%削減（2018年度比）	スコープ1,2 ●2018年度比22.6%削減	
		2035年度	●事業活動におけるCO <sub>2</sub> 排出量の削減（スコープ1,2） →カーボンニュートラル	スコープ3 ●行動計画を立案し、推進	
		2050年度	●事業活動におけるCO <sub>2</sub> 排出量の削減（スコープ3） →カーボンニュートラル		
	脱炭素社会への貢献	自然エネルギーを利用した持続可能な社会の実現	2023年3月期	●風力発電装置の安定稼働に貢献する商品・サービスに関する開発 →2023年3月期 開発テーマ完了	●風力発電装置の軸受供給から異常検知、メンテナンスまでをワンストップで提供するサービスの開始など
			2024年3月期（★）	●風力発電装置の安定稼働に貢献する商品・サービスに関する開発 →2024年3月期 開発テーマ完了	—
		エネルギーロスの低減	2023年3月期	●自動車、産業機械向け商品の低フリクション化、小型・軽量化に関する開発 →2023年3月期 開発テーマ完了	●EV・HEV用高速深溝玉軸受の開発など
		2024年3月期（★）	●自動車、産業機械向け商品の低フリクション化、小型・軽量化に関する開発 →2024年3月期 開発テーマ完了	—	
社会	豊かな暮らしへの貢献 安全と快適の提供	2023年3月期	●ロボット周辺モジュールに関する開発 →2023年3月期 開発テーマ完了	●ロータリアクチュエータ式ハンドの開発など	
			●減災・防災に向けた独立電源装置の認知度向上と提案活動の実施	●複数の自治体で、N <sup>3</sup> エヌキューブ採用（循環式水洗エコトイレ用、バス待待合所用など）	
		2024年3月期（★）	●ロボット周辺モジュールに関する開発 →2024年3月期 開発テーマ完了	—	
		2024年3月期（★）	●減災・地方活性に向けた独立電源装置の認知度向上と販売活動の実施	—	

## ESG経営を支える基盤

ESG課題	マテリアリティ	目標年度	目標	2023年3月期実績
環境	環境保護 資源循環・汚染防止	2023年3月期	●水使用原単位→4.30m <sup>3</sup> /百万円（日本） 3.14m <sup>3</sup> /百万円（海外）	●4.36m <sup>3</sup> /百万円（日本） 2.83m <sup>3</sup> /百万円（海外）
			●廃棄物発生原単位→164kg/百万円（日本） 279.4kg/百万円（海外）	●159.7kg/百万円（日本） 251.0kg/百万円（海外）
			●リサイクル率→97.9%（日本） 97.5%（海外）	●98.7%（日本） 96.2%（海外）
		2024年3月期（★）	●水使用原単位→3.98m <sup>3</sup> /百万円（グローバル）	—
			●リサイクル率→96.0%以上（グローバル）	—
社会	持続可能なサプライチェーン 製品・サービスの信頼性向上（品質保証・安定供給）	継続	●顧客満足度の高水準維持→「大変良い」「おおむね良い」の割合90%以上	●「大変良い」「おおむね良い」の割合88%
			●品質マネジメントシステム認証（ISO9001/IATF16949）取得率100%維持 ※製造に関する国内外の連結子会社（量産開始前の拠点を除く）対象	●100%認証維持
			●品質専門教育受講者数→100名以上	●145名
	2024年3月期（★）	●国内基幹システム再構築の進捗度 生産領域→全拠点に導入完了（販売・物流、財務会計、人事・給与、技術領域は、2022年3月期で導入済み）	●生産7拠点で導入完了 →2024年3月期中の導入完了に向け、計画通り進行中	
		●情報セキュリティ緊急対応体制（NTN-CSIRT）活動開始	—	
社会	労働安全衛生の推進	2023年3月期	●労働安全衛生マネジメントシステム運用継続 →国内製造関係会社6社にてGSCの評価取得完了	●2社でGCS評価取得完了 →未達成の4社は2024年3月期中の評価取得完了に向け、取り組みを継続中
		継続	●健康経営優良法人（大規模法人部門）「ホワイト500」認定維持	●3年連続で認定維持
			●製造拠点を対象としたリスク・サーベイの年間計画の達成度→100%	●達成度100%
	豊かな人づくり	2023年3月期	●海外関係会社のアンケート結果の分析・評価完了	●分析・評価完了
		継続	●国内で働く外国人労働者の実態調査（モニタリング）	●外国人労働者数の集計（毎月）を開始
		継続	●「NTN Next Leader Program」の受講者数→50名	●59名
ダイバーシティの推進	継続	●ESG社内表彰制度「NTN PROUD AWARD」の開催	●2023年6月に第1回グローバル大会を開催	
	2024年3月期	●女性管理職比率→NTN単体9%	●NTN単体4.4%	
	2024年12月	●男性育児休業取得率→30%	●37.2%	
ガバナンス	コンプライアンスの徹底	継続	●コンプライアンス委員会の年間開催回数→2回	●2回
			●コンプライアンス意識調査におけるヘルプラインの認知度→85%以上 ※2024年3月期は目標値を90%以上に引き上げ、取り組みを推進	●88.4%
	ガバナンスの強化	継続	●コーポレート・ガバナンスの充実	●コーポレート・ガバナンスの充実

※目標年度に「継続」と記載のものは、毎年、継続して達成を目指していく目標で、(★)は新たに設定した目標です。